

2008.6.1 杉峠・イブネ・銚子・銚子ヶ口・神崎橋 SH例会 晴れ



フタリシズカ群落



杉峠

杉峠頭



826 藤切発 940-950 大シデ 1050-1101 杉峠 1213-1308 銚子・昼食 1405-1415 舟窪 1425-1436 大峠頭 1456-1504 水舟の池 1552-1610 銚子ヶ口 1656 風越谷林道出合 1728 旧峠道に 1742 神崎川林道 1801 神崎橋



佐目峠



シロヤシオ

食事時間も含むが、9.5 時間のロングランであった。去年の秋に穂高に行ったときは 10.5 時間の行程の翌日、9 時間の行程であったことに比べると短い、その穂高で痛めた膝の爆弾を抱えているのでチャラかな。今回は個人的にはやはり、イブネやクラシに行ってみたかったことがメインだ。冬場に行って御在所や雨乞を見たい。

藤切谷にはヒルがいた。予想通りとはいえ、いやだ。思い切りヒル避けのスプレーをしてきたためか、被害はゼロ。大シデの幹にササユリが寄生していた。数年後には咲きそうな

大きかった。杉峠に到着。オオイタヤメイゲツの葉を初めて観察。



イブネ山頂



雨乞岳



銚子山頂



銚子と深谷山の間鞍部



深谷山へのヤセ尾根



深谷山 (P1022)

佐目峠への道は踏み跡があるが、冬場のように踏み跡がないときはわかりにくいだろう。広い尾根だ。佐目峠からイブネは景色のよい尾根を登る。イブネ・クラシ・銚子もゆるやかな広い尾根が続く。銚子で昼食を取ったが、南東方面にクラシとイブネを見ながらの食事となった。銚子から東に戻り、縦走コースをとる。舟窪までヤセ尾根が続く。大峠から鈴鹿一の大きな池である水舟の池に立ち寄る。なるほど大きな池だ。



舟窪



大峠頭



大峠



銚子ヶ口 西峰



永源寺ダム



イワカガミの群落

池から縦走路にもどり、最終の目的地・銚子ヶ口に進む。みんなの疲れもピークに達しており、下りはいいとしても上りは苦しそうだ。ヒメハギ、コナスビ、イワカガミ、タテヤマリンドウ、アカモノなどの花が疲れを時々癒してくれる。銚子ヶ口・東峰につき、大休憩をとる。北遠方に御池、藤原？、静ヶ岳、竜ヶ岳、東に釈迦、南東に御在所。また、このピークはアカモノの絨毯もある。当初計画では北西―北尾根で神崎橋であったが、時間が押し迫ってきたという事情からリーダー判断で北尾根からモノレール沿いの道で下り、

風越谷林道で神崎橋に向かうことになった。



銚子ヶ口山頂



見晴しのいい東峰



モノレールの端の道



林道到着



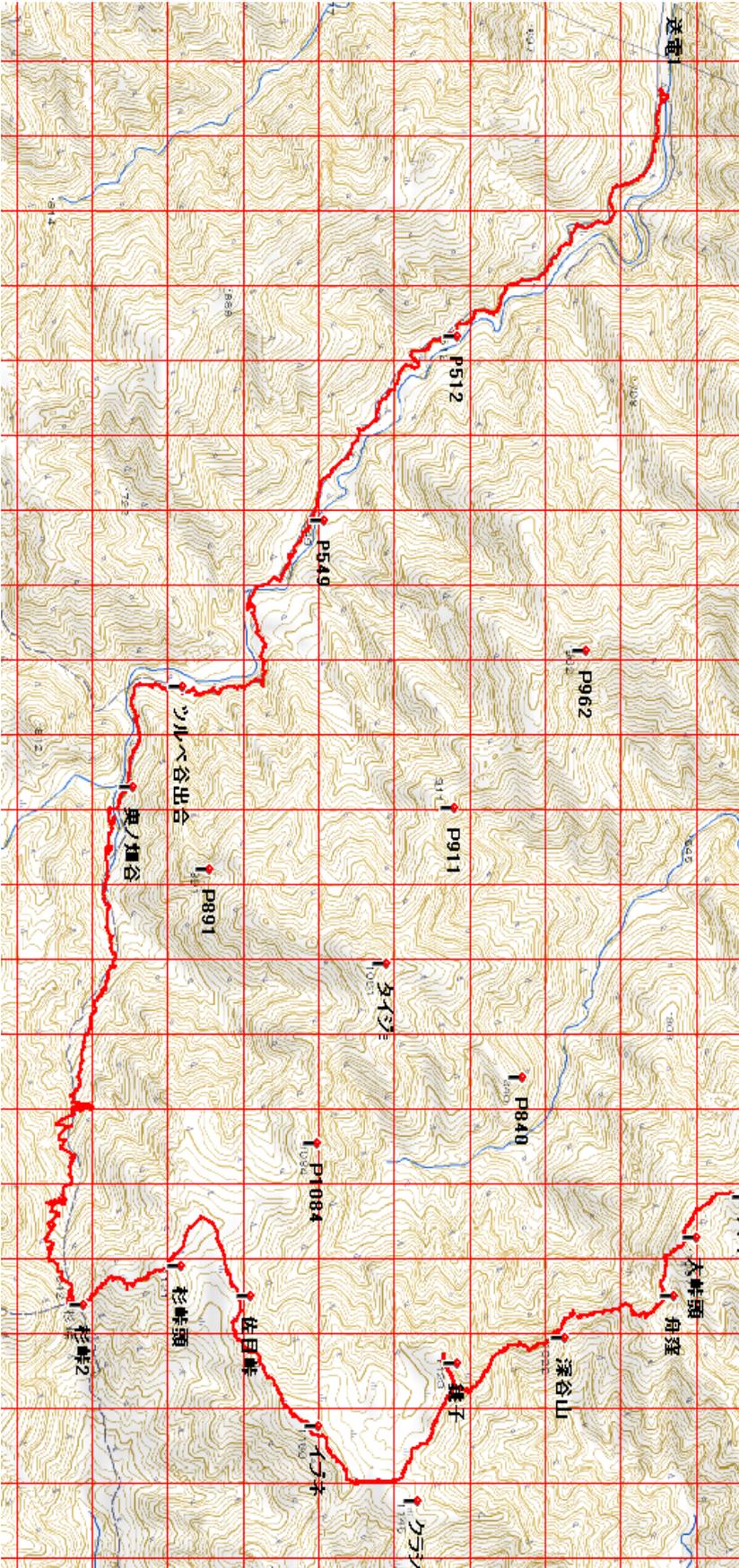
旧峠道の近道に

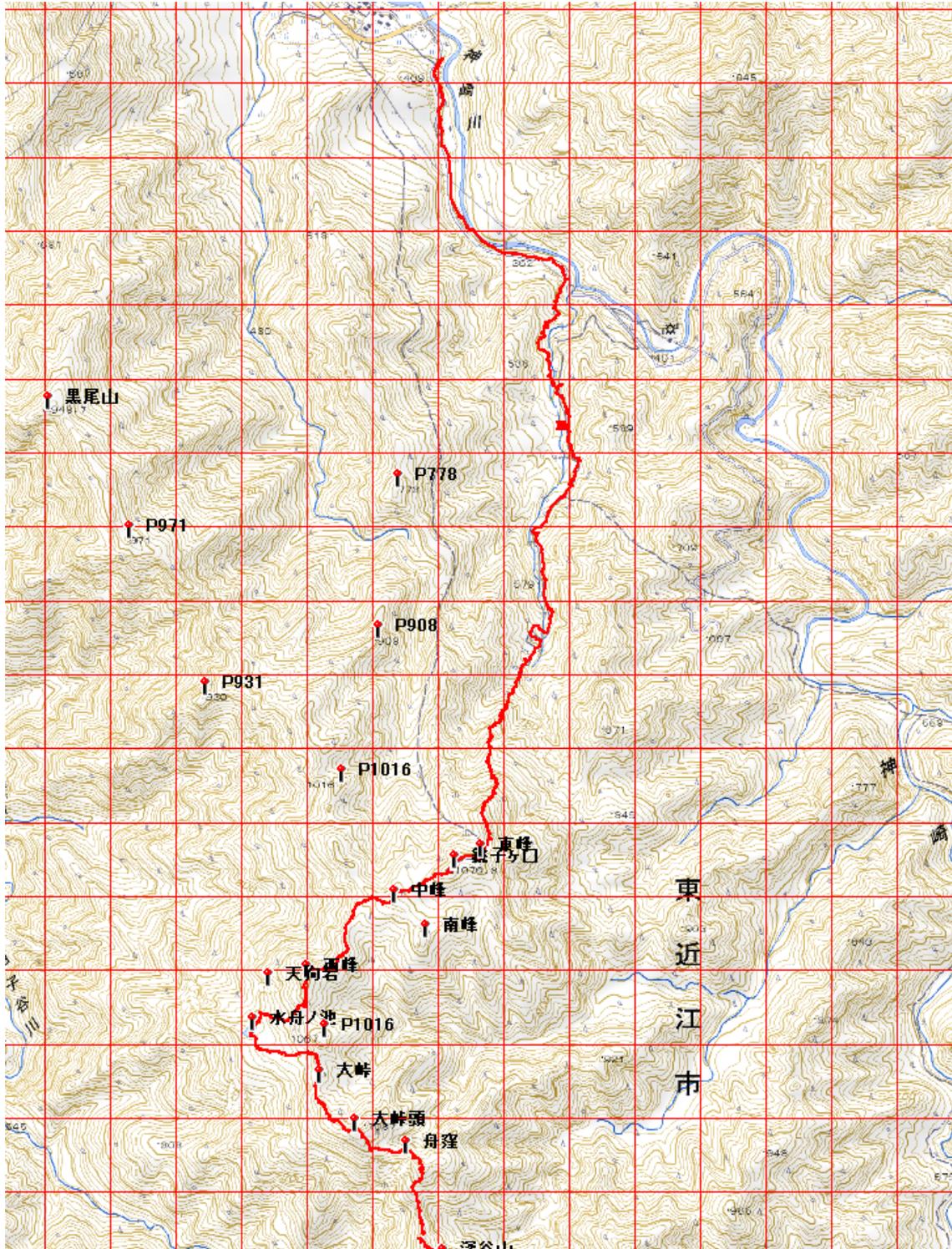


峠道から再び林道に

皆疲れているのだろう。急なモノレール端の道でよくこけた。

長い大満足の日であった。この日の夜、ビールは飲めたが、ご飯は食えなかった。フトンの上でなんとなくだるいとふしぶしの痛みでゴロゴロするのみで寝つきも悪かった。





この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは <http://mametil.googlepages.com/home>